

第2章：大学のカリキュラム について知ろう

- 2-1. 自分が作成した時間割に責任を持つ
- 2-2. 神戸大学のカリキュラムの仕組み
- 2-3. 各分野の必須文献、スキル、
想定されるキャリア
- 2-4. 自分の学修を振り返る

2-1. 自分が作成した時間割に責任を持つ

- 大学の時間割は学部・学科ごとに共通性を保ちながらも、学生一人一人異なる
- **自分の作成した時間割に責任を持つことが大学生生活を送る上で大前提**

よく考えて履修計画を立てましょう



2-2. 神戸大学のカリキュラムの仕組み

2学期クォーター制

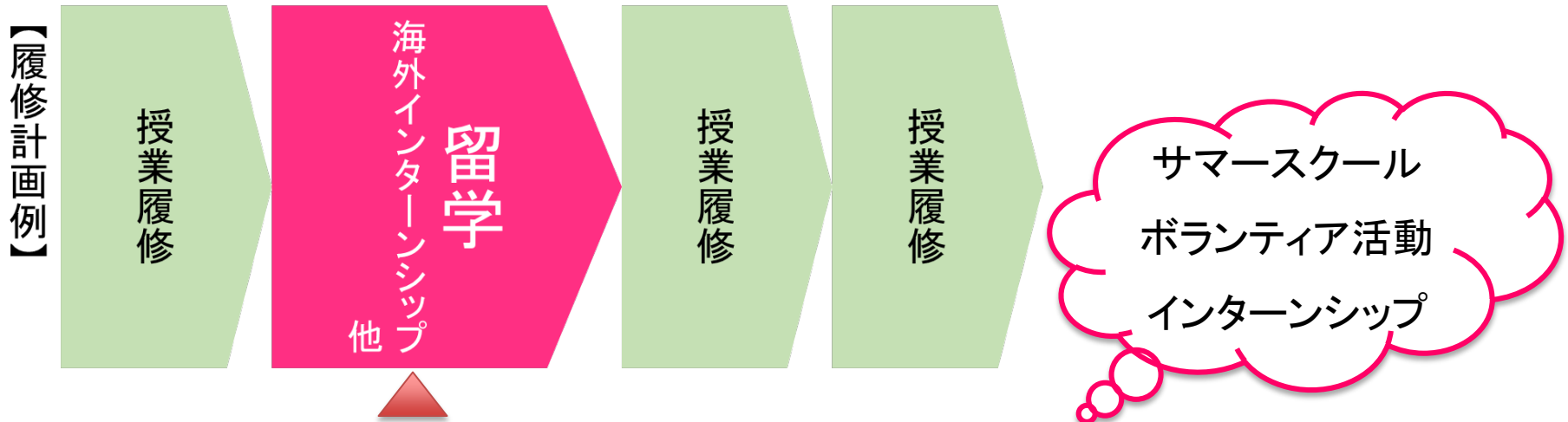
- 1年間を第1から第4の授業単位で構成
- 各8週で授業を行う制度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前期						後期					
第1クォーター		第2クォーター		夏休み		第3クォーター		第4クォーター		春休み	



ギャップタームを使った例

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前期						後期					
第1クォーター		第2クォーター		夏休み		第3クォーター		第4クォーター		春休み	



【第2クォーターと夏休みをギャップタームとして使った例】

学内外での多様な学修活動にチャレンジしましょう！

- 神戸GCPなどの留学プログラムもあります！

大学で履修する科目について

◆各学年で履修する授業科目

全学共通授業科目

1年	2年	3年	4年	5年 (医学部医学科)	6年
基礎教養科目					
総合教養科目					
外国語科目					
情報科目					
健康・スポーツ科学					
共通専門基礎科目					

高度教養科目

		高度教養科目		
--	--	--------	--	--

専門科目

初年次セミナー					
専門科目				(医学部医学科)	

全学共通の科目の紹介①

◆初年次セミナー

- 教員・学生との対話を通じ、自律的な学びの姿勢を育む
- 神戸大学に関する理解を深める
- 共に学ぶ仲間を見つける
- 大学で身につけたい能力等について考える

全学共通の科目の紹介②

◆外国語科目

「外国語第Ⅰ」・・・英語

「外国語第Ⅱ」・・・英語以外の未修の外国語

(ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語)

- 基本的な内容は必修科目
- 発展的な内容を学ぶための上級コース(選択制)も設けている
- 英語外部試験のスコアによる英語ベーシック・コース科目の単位授与と英語特別クラスを導入

全学共通の科目の紹介③

◆情報科目

- 学修に必要な情報リテラシーについて学ぶ
- 学内PCの利用方法
- ネットワーク上のコミュニケーションマナー
- セキュリティに関する基礎知識の習得

全学共通の科目の紹介④

◆健康・スポーツ科学

- 身体と健康・運動について学ぶ
- 運動・スポーツを行い、健康増進の意識を高める
- 学生相互のふれあいを通じ、コミュニケーション力・リーダーシップなど社会性の向上を目指す

全学共通の科目の紹介⑤

◆ 共通専門基礎科目

- 専門科目を学ぶための基礎学力を身につける
- 所属学部によって、必須となる基礎知識を学ぶ
- 数学、物理学、化学など

全学共通の科目の紹介⑥

◆基礎教養科目

(人文系、社会科学系、生命科学系、自然科学系科目)

- 入学した学部・学科以外の学問分野の基本的な知識・ものの見方を学ぶ
- 複眼的なものの見方を身につける

◆総合教養科目

(グローバル・イシュー、ESD、多文化理解、キャリア科目等)

- 多様な文化、思想、価値観を受容する
- 地球的課題を理解する能力を身につける

全学共通の科目の紹介⑦

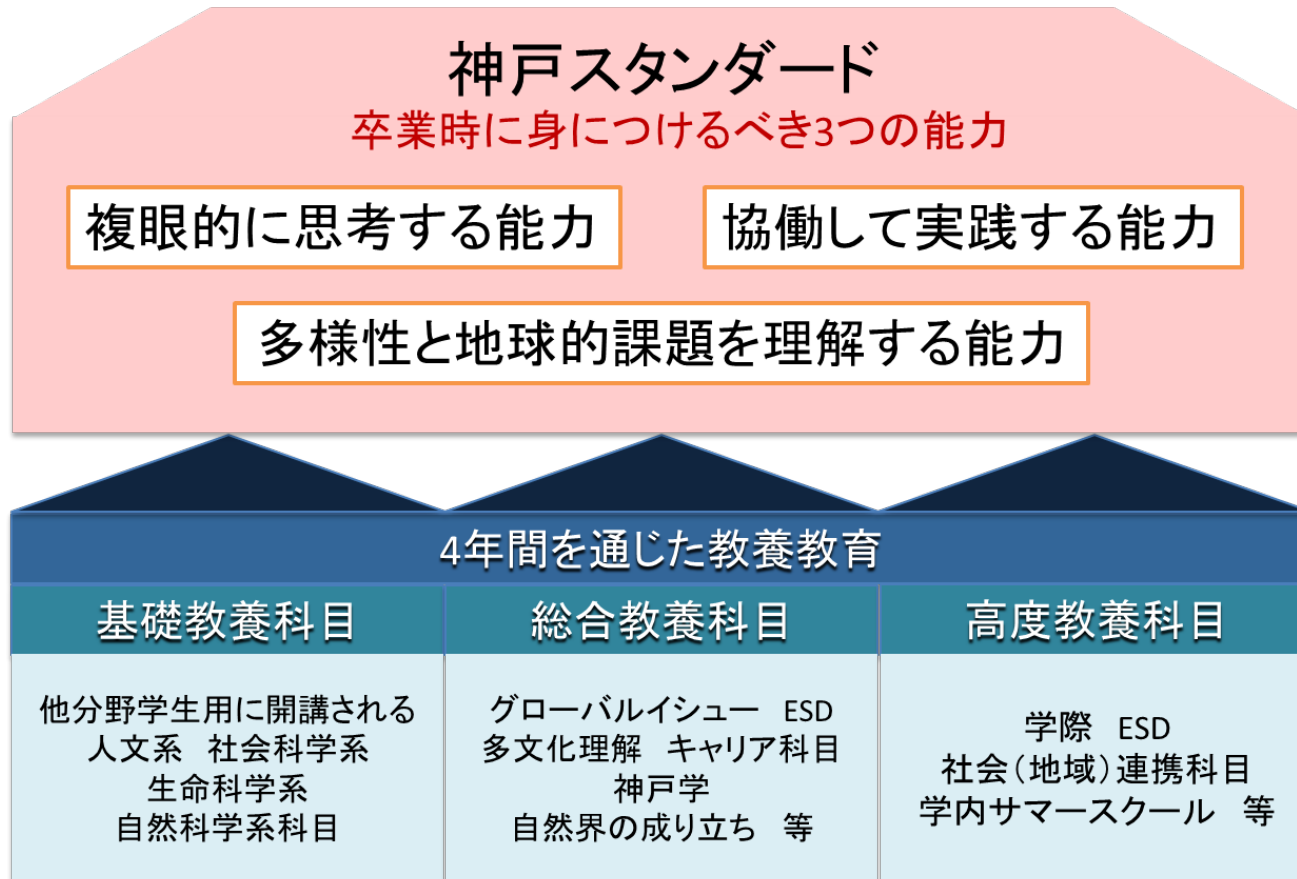
◆高度教養科目

「基礎教養科目」「総合教養科目」や「専門科目」などで修得した知識と技術を活かしながら、他学部生と一緒に授業を受講する

- 協働してさまざまな課題を学ぶことでチームワーク力と目標を追求し続ける力を身につける
- 基本的には3・4年次から履修する

神戸スタンダード

◆教養科目において、学生が卒業までに身につけるべき共通の能力





ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー

ディプロマ・ポリシー (DP)

- ◆卒業認定と学位授与を行う上での基本方針
- ◆神戸スタンダードとあわせて、卒業までに身につけるべき能力
 - 人間性、創造性、国際性、専門性

カリキュラム・ポリシー (CP)

- ◆DPを達成するための具体的な道筋

自分の学部のDP・CPについて調べてみましょう

<http://www.kobe-u.ac.jp/campuslife/edu/policy/index.html>

2-3. 各分野の必須文献、スキル、想定されるキャリア

◆学問分野には主題(存在意義)がある

- 自分の学部・学科の主題について調べてみよう

◆必須文献や参考書を見つけよう

- 各学問分野には初心者にとっての入門書がある
- 入門書や授業の教科書用の書籍は附属図書館に参考図書として所蔵されている

◆ 基礎スキルを身につけよう

- 各分野における基礎知識・スキル
- 日本語(留学生は母語)で論理を構成する能力
- 国際共通語としての英語の運用能力

◆ キャリアを想定しよう

- 先輩学生の進路について調べる
- いつの時点で就職活動を始めればよいのか調べる
- キャリアセンターや各学部・学科で開催される就職ガイダンスなどを通じて情報収集する

2-4. 自分の学修を振り返る

◆「学習」から「学修」へ

大学における学びは、他者から「習う」「倣う」ものではなく、自ら主体的に「修める」もの

授業振り返りアンケート

履修した授業科目の学修について振り返る

- どのくらいの学修時間を確保できたのか
- 内容をどの程度理解できたのか
- 授業目標をどの程度達成できたのか

<回答方法:うりぼーネット>

学修の記録

授業だけに限らず、学修活動全体を、クォーターで振り返る

- 授業に関わる自己学修
(授業前後の学修、ゼミ・研究室の活動)
- 授業に直接関わらない自己学修
(留学、資格取得、就職、クラブ活動)

<回答方法:うりぼーネット>